

岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 5
2016. 9

TOPICS

1

ミャンマーの保健大臣が来学 大学病院など視察

G7神戸保健大臣会合に出席したミャンマーのミン・トゥエ (Myint Htwe) 保健大臣らが9月12～13日、岡山を訪問し、本学を視察しました。

12日、市内ホテルで本学主催の歓迎会を開催。森田潔学長、認定NPO法人日本・ミャンマー医療人育成支援協会の岡田茂岡山大名誉教授、団体・企業等の関係者約100人が出席しました。歓迎会では、森田学長、ミン・トゥエ大臣があいさつしたほか、本学のミャンマー人留学生と交流を深めました。

13日、ミン・トゥエ大臣は大学病院を訪問。榎野博史病院長、大塚愛二医学部長、那須保友医歯薬学総合研究科長らと、医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などの育成について意見交換を行い、今後もミャンマーの医療人育成を積極的に推進することを確認しました。また、岡山大学病院の手術室、集中治療室、IVRセンターなど病院の最新医療施設や、医療教育のためのシミュレーション施設などを熱心に視察しました。



参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id6090.html

教員・学生・職員 三者協働の教育について議論 第19回桃太郎フォーラム開催

TOPICS

2



本学全学教育・学生支援機構教育開発センターは9月1日、創立五十周年記念館などで、大学教職員や学生等を対象にした研修会「第19回桃太郎フォーラム」を開催しました。「『共育力』を高める～教員・学生・職員による三者協働型の教育に向けて～」をテーマに実施。他大学の教職員を含め、教職員や学生ら約300人が参加しました。

午前の部では、教育改革を先導する先進的な授業科目や優れた教育を行っている授業科目を選考し、担当教員を表彰する「岡山大学ティーチング・アワード表彰」の表彰式を初めて実施。受賞した教員4人がプレゼンテーションを行いました。そのほか、関西大学教育推進部の三浦真琴教授による講演もあり、同大における教員・学生・職員の三者協働によるアクティブ・ラーニングの展開について話しました。

午後の部では、分科会やセミナーを開催。分科会では午前の部を踏まえた学生の力を活用する教育の実践について、本学が今年度から導入した60分授業・4学期制に対応した授業改善事例、アクティブ・ラーニングを支える学習環境デザイン、ルーブリック評価の導入を議論しました。また、今年度初めて、英文シラバスの書き方、教育動向を踏まえた日本の高等教育政策、学生・教職員のメンタルヘルスなど、幅広く大学教育を学び、考えるテーマを設定したセミナーを同時開催しました。いずれの分科会・セミナーでも多くの参加者による白熱した議論が繰り広げられました。



参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id6100.html

最近の大学の取組

文科省の「大学の世界展開力強化事業」に採択決定

文部科学省の平成28年度「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」の審査結果が9月16日に公表され、本学が申請した「東アジア高等教育圏を見据えた中核的高度実践人＝アジアクラット育成プログラム」が採択されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id6085.html



東北師範大学(中国)との 友好交流 30 周年記念式典を挙



本学は国際交流協定を結ぶ中国の東北師範大学との「友好交流 30 周年式典」を9月5日、東北師範大学にて挙行了しました。共同宣言の調印や、学生交流に関する5年間の協定書への調印を行いました。

式典には、東北師範大学の劉益春校長、在瀋陽日本国総領事の石塚英樹総領事、本学の森田潔学長ら関係者約 150 人が出席。森田学長は「東北師範大学は、本学の最も長く強い交流提携関係を持つパートナーの一つであり、両大学の交流活動をさらに深め両大学が発展することを願っている」とし、両大学の友好関係を支えてきた関係者に感謝の意を表明しました。 参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id6095.html



「岡山大学・フエ大学院特別コース」 10 周年記念行事を開催

「岡山大学・フエ大学院特別コース」の 10 周年記念行事が 9 月 9 日、ベトナムのフエ大学で開催され、フエ大学名誉教授の称号授与と協定書の調印式が行われました。

記念行事では、フエ大学が、森田学長と大学院環境生命科学研究科のキム・ドゥチュル教授に名誉教授の称号を授与しました。

調印式では、同コースの第 2 ステージ(5 期)の延長実施が両大学の合意によって決定されたことを受け、森田学長とグエン・バン・トアン フエ大学長が協定書へ調印しました。 参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id6080.html



文学部学生が日本代表として出席 2016 MODEL APEC CONFERENCE で優秀発表賞



本学文学部4年の川上真矢さんが、8月25～28日に中国の北京で開催された「2016 MODEL APEC CONFERENCE」(Promoting APEC Youth Leadership and Entrepreneurship Side Event of the 6th APEC Education Ministerial Meeting)に、日本代表として出席しました。

本会議は、APEC 教育大臣会合を模して開催。日本代表団はプレゼンテーションで優秀発表賞を受賞しました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id6038.html



RESEARCH
HIGHLIGHTS

がん幹細胞は腫瘍内の血管を形成する マウス iPS 細胞により世界で初めて証明

大学院自然科学研究科(工)ナノバイオシステム分子設計学研究室の妹尾昌治教授らの研究グループは、がん幹細胞が血管の細胞へ分化して腫瘍内で血管系を形成することを証明しました。がん幹細胞が宿主由来の血管内皮細胞を巻き込みながら、自らも血管内皮細胞や疑似血管を構成していくことは、従来の腫瘍血管が形成される概念を進化させる世界的にも新しい発見です。本研究成果は9月末、がん研究の国際科学雑誌『American Journal of Cancer Research』に公開されます。

妹尾教授らの研究グループは 2012 年、iPS 細胞からがん幹細胞を世界で初めて作成することに成功。多種多様ながん細胞を調整できることを示し、がん患者の組織内に存在する細胞との関連を研究しています。

本研究成果によって、腫瘍血管を標的とする新たな制がん剤の開発が進めば、より効果的な制がん剤開発につながると期待されます。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id417.html

